

7月29日：大型株によってVN指数は上昇したが、先行きは悲観的

VN指数は月曜日に上昇して取引を終えた。大型株に対しての強い買い需要が指数を上昇させた。

ホーチミン取引所のVN指数は0.46%上昇し997.94ポイントで取引を終えた。

VN指数は先週1.1%上昇している。

取引時間中には0.51%ほど下落する場面があった。

いくつかの大型株は月曜日に市場を牽引した。

VN30指数は0.08%上昇し888.54ポイントで取引を終えた。

VN30指数の中で12銘柄が上昇した。

ベトコムバンク (VCB)、ペトロベトナムガス (GAS)、エクシムバンク (EIB)、コテコンズ建設 (CTD)、ビンググループ (VIC) などが上昇した。

反対に、16銘柄が下落、ホアファットグループ (HPG)、サコムバンク (STB)、ビンコムリテール (VRE)、ベティンバンク (CTG) などが下落した。

ホーチミン取引所全体では193銘柄が下落し109銘柄が上昇、57銘柄が変わらずで取引を終えた。

投資家は大型株への投資に集中し続けていた。それによって指数を1000ポイント付近まで押し上げたサイゴンハノイ証券 (SHS) はデイリーレポートで語った。

しかしながら、流動性を考えると市場はいまだに悲観的であり、それゆえに短期的な見通しは不透明だと同社は語った。

出来高は1億4780万株で、売買代金は3.55兆ドン (1億5270万ドル) ほどであった。

投資家はFRBの会合に注意を払っており、木曜日に利下げに関する結論が出る。火曜日と水曜日の2日間は不安定に動くかもしれないと同社は予想した。

大型株への買いだけでは指数を 1000 ポイントを超えて上昇させるのに十分ではないと MB 証券 (MBS) は語った。

市場は材料難で、売り圧力が高まるかもしれないので、潜在的なリスクを避けて利益を確定させる動きになるかもしれないと MBS は語った。

ハノイ取引所の HNX 指数は 1.05% 下落し 105.29 ポイントで取引を終えた。

同指数は先週合計で 0.62% 下落していた。

売買代金は 3550 億ドンで、2700 万株が取引された。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。